

# 第168回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成22年3月)

柏崎信用金庫

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,703	-0.55	-0.48	4,048	0.74	-0.32
東部地区	14,292	-0.24	-0.66	5,621	0.21	-0.26
西部地区	10,699	-1.20	-0.53	4,002	-0.14	-0.17
駅南地区	6,285	-1.85	-0.44	2,666	-0.48	0.45
半田地区	3,608	0.72	-0.55	1,348	1.35	-0.44
横山地区	5,658	-0.01	-0.52	1,863	1.30	-0.58
茨目・田尻地区	6,981	0.35	-0.31	2,345	1.16	0.00
荒浜地区	5,103	-1.04	-0.19	2,001	-0.24	-0.04
その他地区	20,854	-1.46	-0.23	7,182	0.09	0.11
西山町地区	6,317	-0.66	0.01	2,130	-0.37	-0.04
高柳町地区	1,941	-1.96	-0.20	848	1.31	-0.11
柏崎市計	91,441	-0.79	-0.39	34,054	0.28	-0.10
刈羽村	4,890	-1.11	-0.30	1,548	0.32	0.12
小国地区（長岡市）	6,377	-1.96	-0.42	2,141	-0.83	-0.23
出雲崎町	5,164	-2.27	-0.40	1,811	-0.60	0.00
合計	107,872	-0.95	-0.39	39,554	0.18	-0.09

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で733人、0.79％、刈羽村で55人、1.11％、小国地区（長岡市）で128人、1.96％、出雲崎町で120人、2.27％とそれぞれ減少し、全体では1,036人、0.95％の減少となった。また、前月比においても、柏崎市で363人、0.39％、刈羽村で15人、0.30％、小国地区で27人、0.42％、出雲崎町で21人、0.40％と減少し、全体では426人、0.39％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で18世帯、0.83％、出雲崎町で11世帯、0.60％と減少したものの、柏崎市で97世帯、0.28％、刈羽村で5世帯、0.32％と増加したことから、全体では73世帯、0.18％の増加となった。また、前月比においては、刈羽村で2世帯、0.12％と増加したが、柏崎市で35世帯、0.10％、小国地区で5世帯、0.23％と減少した結果、全体では38世帯、0.09％と減少している。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,095		50.20		6.31	
月間有効求職者	2,620		41.46		13.32	
月間有効求人倍率	0.42	0.52	0.03*	0.13*	-0.03*	0.03*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

労働需給状況については、平成22年1月分までは「パートを除く常用」の計数を記載していましたが、平成22年2月分からは「パートを含む全数」の計数を記載していますので留意願います。なお、前年同月比では、平成23年1月分まで「パートを除く常用」との比較になっています。

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,095人と前年同月比で366人、50.20％の増加、前月比でも65人、6.31％と増加している。

一方、月間有効求職者数は2,620人と前年同月比で768人、41.46％の増加、前月比でも308人、13.32％と増加した。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.42倍となり、県平均0.52倍と比べて0.10ポイント大幅に下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が511人と前年同月比で24人、4.49％の減少となったものの、月間新規求職者数は878人と前年同月比で27人、3.17％と増加した結果、月間新規求人倍率は0.58倍となり、前年同月の0.63倍に比べて0.05ポイント悪化している。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成22年3月の年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	38	-11	15	404	-466
共 同 住 宅	0	-1	-1	10	3
事 務 所	0	-1	0	9	-2
作 業 所・工 場	5	5	4	8	-10
営 業 建 物	0	-1	-2	23	-7
公 共 建 物	0	0	-1	3	2
そ の 他	6	-1	-2	101	-20
合 計	49	-10	13	558	-500

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が49件と前年同月比で10件の減少となったものの、前月比では13件増加している。工種別における主な増減は、一般住宅（併用）が前年同月比で11件の減少となったが、前月比では15件増加している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が22件、増築が17件、改築が10件となった。また、一般住宅（併用）38件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況については、市内施工業者が27件（うち新築10件、増築10件、改築7件）、市外施工業者が9件（うち新築6件、増築1件、改築2件）、未定が2件となっている。

### 4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,001	-0.56	0.07	25,891	9.18	-0.91
電 力	11,100	-2.98	-0.57	41,619	16.78	-0.13

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で371口、0.56%の減少となったものの、前月比では48口、0.07%と増加している。一方、電力においては、前年同月比で342口、2.98%の減少、前月比でも64口、0.57%の減少となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で2,179kwh、9.18%の増加となったものの、前月比では238kwh、0.91%と減少している。一方、電力においては、前年同月比で5,983kwh、16.78%の大幅な増加となったが、前月比では56kwh、0.13%と僅かに減少している。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,665,486	1.09	-12.43	634,359	2.33	-5.97
営 業 用	300,067	5.26	-9.79	114,128	8.96	-0.88
工 場 用	806,315	40.59	2.07	136,962	3.08	9.55
官 公 学 校 用	677,761	5.98	-4.84	80,344	4.41	4.97
そ の 他				44	144.44	-2.22
合 計	3,449,629	9.67	-7.68	965,837	3.35	-2.57

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で304,199m<sup>3</sup>、9.67%の増加となったものの、前月比では287,235m<sup>3</sup>、7.68%と減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比ではすべての用途で増加、前月比では工場用を除くすべての用途で減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で31,371m<sup>3</sup>、3.35%の増加となったが、前月比では25,546m<sup>3</sup>、2.57%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比ではすべての用途で増加、前月比では工場用、官公学校用を除く用途が減少している。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	85,542	5.75	22.31	91,352	7.12	23.17
西 山	41,203	-11.83	28.23	37,198	-13.43	30.09
米 山	19,941	-6.87	46.47	17,248	-14.82	32.87
合 計	146,686	-1.57	26.80	145,798	-1.81	25.97

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で2,352台、1.57%の減少となったものの、前月比では31,008台、26.80%と大幅に増加している。一方、出口においても、全体では前年同月比で2,698台、1.81%と減少したが、前月比では30,059台、25.97%の大幅な増加となっている。インター別で見ると、前年同月比では西山・米山インターで入口・出口ともに大幅な減少、前月比ではすべてのインターの入口・出口において大幅に増加している。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	368,640	2.20	1.33	153,195	-0.46	0.83
平 残	359,089	2.69	0.66	149,364	-1.93	0.32

預金は、末残が前年同月比で7,946百万円、2.20%の増加、前月比でも4,859百万円、1.33%と増加している。平残は、前年同月比で9,407百万円、2.69%の増加、前月比でも2,364百万円、0.66%と増加している。一方、貸出金は、末残が前年同月比で722百万円、0.46%の減少となったものの、前月比では1,263百万円、0.83%と増加している。また、平残においても前年同月比で2,942百万円、1.93%の減少、前月比では477百万円、0.32%の増加となっている。

## 8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	36,393	572.57	24.82
交 換 金 額	28,267	428.37	37.65
不 渡 り 手 形 枚 数	84	950.00	35.48
不 渡 り 手 形 金 額	64	1,798.60	44.60

(資料出所：長岡手形交換所)

柏崎手形交換所は、平成21年3月31日に廃止となり、新たに平成21年4月1日から長岡手形交換所に統合されたため、平成21年4月分から長岡手形交換所による計数となっています。なお、前年同月比については、平成22年3月分までは柏崎手形交換所との比較になります。

長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で30,982枚、572.57%の増加、前月比でも7,238枚、24.82%と増加している。また、交換金額は前年同月比で22,917百万円、428.37%の増加、前月比でも7,733百万円、37.65%の増加となっている。なお、不渡手形は84枚、64百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産5件（前年同月7件、前月4件）、負債総額27億円（同12億円、同5億円）となっている。地区別では、中越地区で2件（長岡市1件、柏崎市1件）、上越地区で3件（上越市2件、妙高市1件）発生し、下越地区では発生していない。業種別は、建設業3件、製造業2件となっており、倒産原因については5件すべてが販売不振となっている。

当月の企業倒産は5件、負債総額で27億円と、前年同月比では件数は2件減少、負債総額では15億円の増加となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産が1件発生している。

県内経済は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、引き続き厳しい状況が続いている。企業における企業収益は持ち直し傾向にあり、景況感は緩やかに改善している。個人消費は、弱い動きが続くものの、一部に明るさがみられる。また、雇用面は下げ止まっているものの、引き続き厳しい状況となっている。